

2005年12月20日

**日本テレコム IP 電話サービス「IP-One IP フォン B プラン」と
日立コミュニケーションテクノロジー製 IP テレフォニーサーバ
「IPTOWER-SP シリーズ」の接続が可能に**

日本テレコム株式会社
株式会社 日立コミュニケーションテクノロジー

日本テレコム株式会社（本社：東京都港区、取締役代表執行役社長：倉重 英樹、以下日本テレコム）と株式会社 日立コミュニケーションテクノロジー（本社：東京都品川区、取締役社長：青木 榮司）は、このたび、日本テレコムの法人向け IP 電話サービス「IP-One IP フォン B プラン」と日立コミュニケーションテクノロジーの多機能 IP テレフォニーサーバ「IPTOWER-SP シリーズ」の接続検証を終了しました。

日本テレコムは、次の特長をもった IP テレフォニーサービスの提供が可能になります。

- (1) お客様は日本テレコム「IP-One IP フォン B プラン」の 050 番号を利用した IP 電話サービスと組み合わせることで、社員一人ひとりに電話番号を振り当てができ、社員や部署が全国どの拠点へ移動しても同じ外線/内線番号での発着信が可能となります。つまり、オフィスでのコビキタス環境が実現できるため業務の効率化が向上するほか、業務アプリケーションとの連携もできることから、IP シームレスネットワークならではの様々なメリットが期待できます。
- (2) お客様は「IPTOWER-SP シリーズ」を導入いただくことにより、日立コミュニケーションテクノロジーが長年培ってきた音声通信システムとしての使いやすさに加えて、グループウェア連携やプレゼンス管理など企業の業務効率向上へつながらる IP テレフォニーソリューションとして、オフィスの新しいコミュニケーションスタイルを利用することができます。

これにより、日本テレコムが提供するサービスを利用すると、お客様はワークスタイルの革新のみならず、音声ネットワークとデータネットワークを IP で統合したブロードバンドオフィスを実現することで、TCO の削減に加え、コミュニケーション効率の向上、ナレッジの共有化と情報管理が活性化され、業務の効率化、知的生産性などのサービス品質の向上が見込まれます。なお、日本テレコムでは「IP-One IP フォン B プラン」サービスをご利用いただくことで、いつでも、どこでもオフィスをコンセプトに、「フリーアドレス化」を含めた新しいワークスタイルを推進しております。たとえば、お客様が他の場所に出掛けている時、接続機器が具備している転送機能を利用することで、シームレスにコミュニケーションできるなど、多様な通信環境の構築が可能になります。

「IP-One」の詳細については、こちらを参照してください。

http://www.japan-telecom.co.jp/business/iphone/ip_phone/plan_b/index.html

以 上